

埼玉県草加保健所

管轄区域



草加市、八潮市、三郷市、吉川市

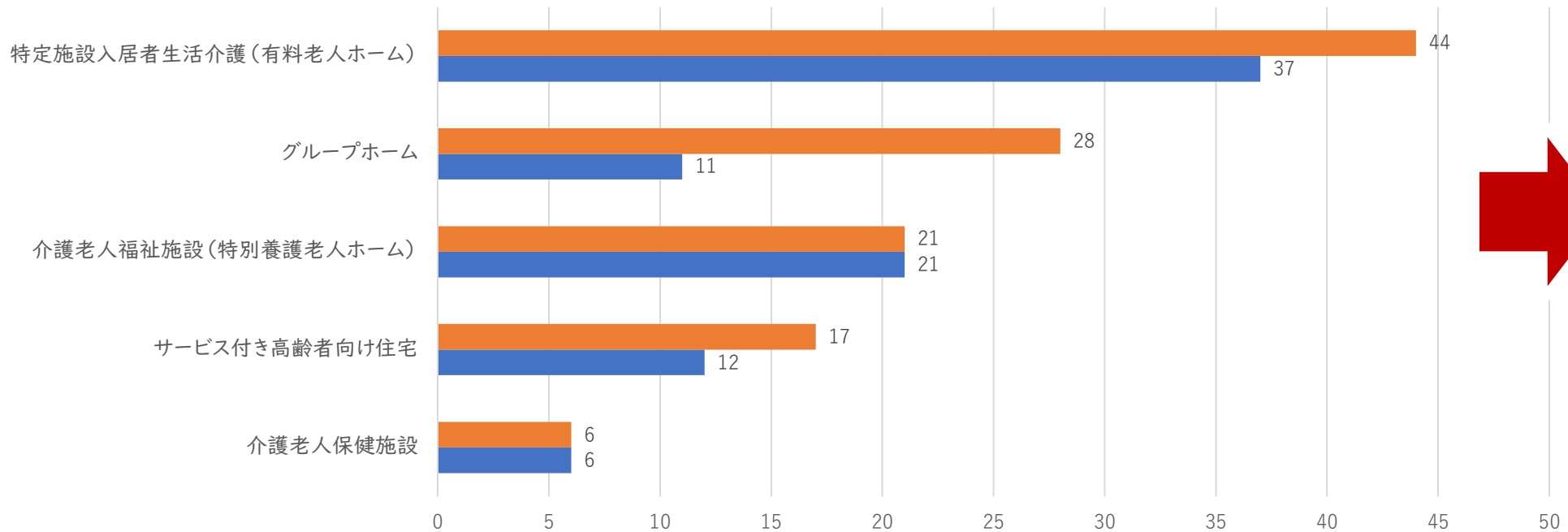
高齢者施設の感染状況



草加保健所管内 新型コロナウイルス対応施設件数

草加保健所管内 新型コロナウイルス対応施設 (R4.1~R4.9)

★施設総数116、そのうち87施設で陽性報告あり



	介護老人保健施設	サービス付き高齢者向け住宅	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	グループホーム	特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)
■施設数 (各市役所のHP一覧より)	6	17	21	28	44
■陽性者が発生した施設数	6	12	21	11	37

考察

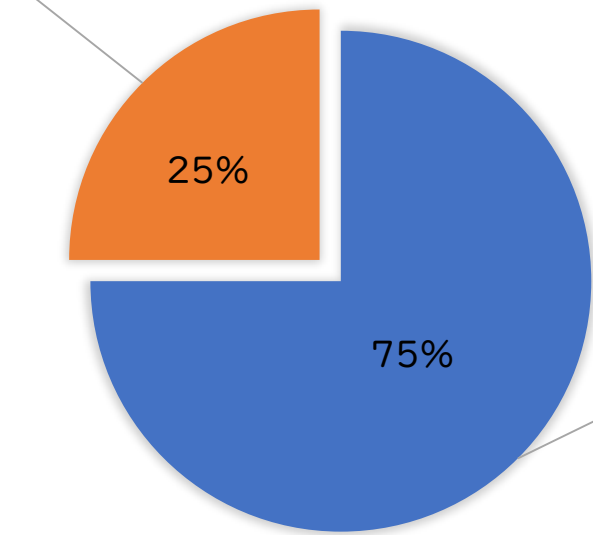
全体の約74%の施設で新型コロナウイルスの陽性報告がありました。

施設形態によって差がありますが、医療連携、検査に至る経緯の違いによるものと考えられます。



令和4年1月～9月 施設調査数 状況別割合

集団感染(5名以上),
131件



※調査数は教育・保育・一般も含んでいます。

少数感染(5名未満),
393件

感染拡大の要因

- 3密対策が不十分だった(食堂利用、入浴、居室対応時の換気、空気の流れが悪い)
- 間違ったガウンテクニック、ゾーニングから職員から入居者、入居者から職員への感染を防げなかった
- 効果的な消毒が行えていなかった



職員の方に伺いました ～集団感染発生時に困った事～

- 残った入居者・職員から陽性者を出さないように入居者、職員全員に1週間抗原検査を行っていた
→コスト増大、検査者の感染リスクがあり苦労した
- クラスター発生時は夏場であり、**長期化する対応で体力的にきつかった**
- マンパワー不足**で**通常の対応に+α陽性者対応となり大変**だった
- 隔離対応方法が分からなかった**
- 施設で独自にゾーニング実施していたが、**ごみ捨てや食事・配膳などの細かい対応や導線が分からなかった**
- 職員の感染による人手不足からシフトが回らない、対応が厳しくなっていた。
- 行政とのやり取りがスムーズにいかなかったり、各部署と連絡とる際に同じ内容の説明を何度もする形になり大変だった
- 居室が点在していて**ゾーニングがうまくできず苦労**した
- 認知症の入居者の居室対応が難しい、マスクが出来ない**
- 職員不足、他県から応援が呼んだが、ホテルを手配したり、危険手当を支給したりPPE対応物品の購入費等収束までに多大な経費が必要だった
- 陽性者の対応をしている職員が自宅に帰れず施設に泊まっていた（自宅小さい子供や基礎疾患のある高齢者がいる為）
- 普段より、**職員・入居者とも制限が増えた事で、業務量が増加した結果人手不足**になっていたし、**ストレス**がすごく**地獄のような日々**だった
- 職員間の感染拡大に加えクラスターによる業務量増加によりスタッフ不足がとにかく辛かった
- 当該施設では初のクラスター発生だったので、**感染の知識やノウハウがなく対応が後手後手**になってしまった
- 短期間に爆発的に広がったのでガウンやN95などの物品が不足した
- PPE物品は普段から用意はしていたが、思っていた以上に必要になり数が足りず苦労した



職員の方に伺いました ～COVMAT介入してよかった事・改善された点～

クラスター（集団感染）対策として感染症対策の専門家
などで構成されたコロナ対策チーム

- 職員の意識改革が大きい。もし感染した場合、正しい感染対策が出来ていないことで感染が広がってしまう。
ちょっとしたポイントに気を付けるだけで感染拡大を防ぐ事に繋がるという意識を持って皆取り組むことができています
- 手指消毒の溶液をウエルパスに変更した
- COVMATでのPPE実演指導を動画で記録していたので、講習後全職員にLINEにて動画拡散した。
今ではスタッフが自信を持って脱着できる
- 感染拡大の要因として、食事要介助者多数に対して「一処置一手指消毒」ができていなかったことがあげられた。
当時、各フロアごとにアルコール設置はしていたが効果的なタイミングで消毒ができる配置ではなかった
→ 消毒のタイミング、アルコール消毒の設置場所変更した
- 各個人にウエストホルダータイプのアルコール消毒を配布。適切なタイミングで手指消毒できるようにした
- ゾーニングの指摘を受けた（フロア全体をレッドゾーンとし、職員の休憩や水分補給、荷物置き場等もレッドゾーンで行ってた）をグリーンゾーンで行うように改善したことで職員への感染がなくなり収束に向かっていったと感じている。
- 感染対策の指導を受け本来しなくてよい制限をしていた事がわかった。最適化したことで業務が楽になった。
- 認知症の入居者がいるフロアをゾーニング指導をしてもらったことで対応が楽になった。
- 職員初発からの感染波及だったため、水際対策として出勤時に体調不良あれば欠勤もしくは早退し
早期医療機関受診するよう体制が変わった
- 新規陽性者発生時の初期対応が早期に行えた

